

東京応化工業株式会社 決算説明会資料

-tok中期計画2021-

2019年2月15日
東京応化工業株式会社

tok



© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

目次

1. **tok**中期計画2018/新中計の展望 p.2
2. **tok**中期計画2018総括 p.3
3. **tok**中期計画2021 p.6
4. 補足資料 p.23

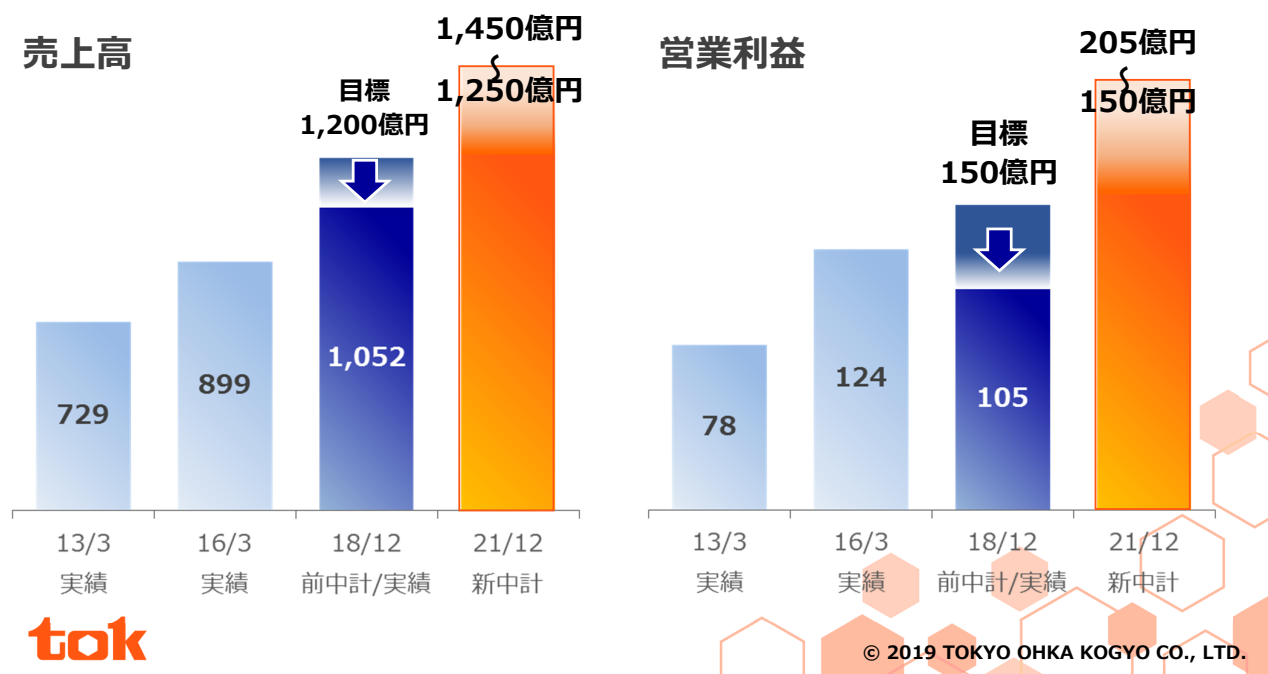
tok



© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

前中計：最終年度に最高益更新を目指すも、利益伸び悩みが続いた

⇒新中計：成長軌道への回帰を果たす



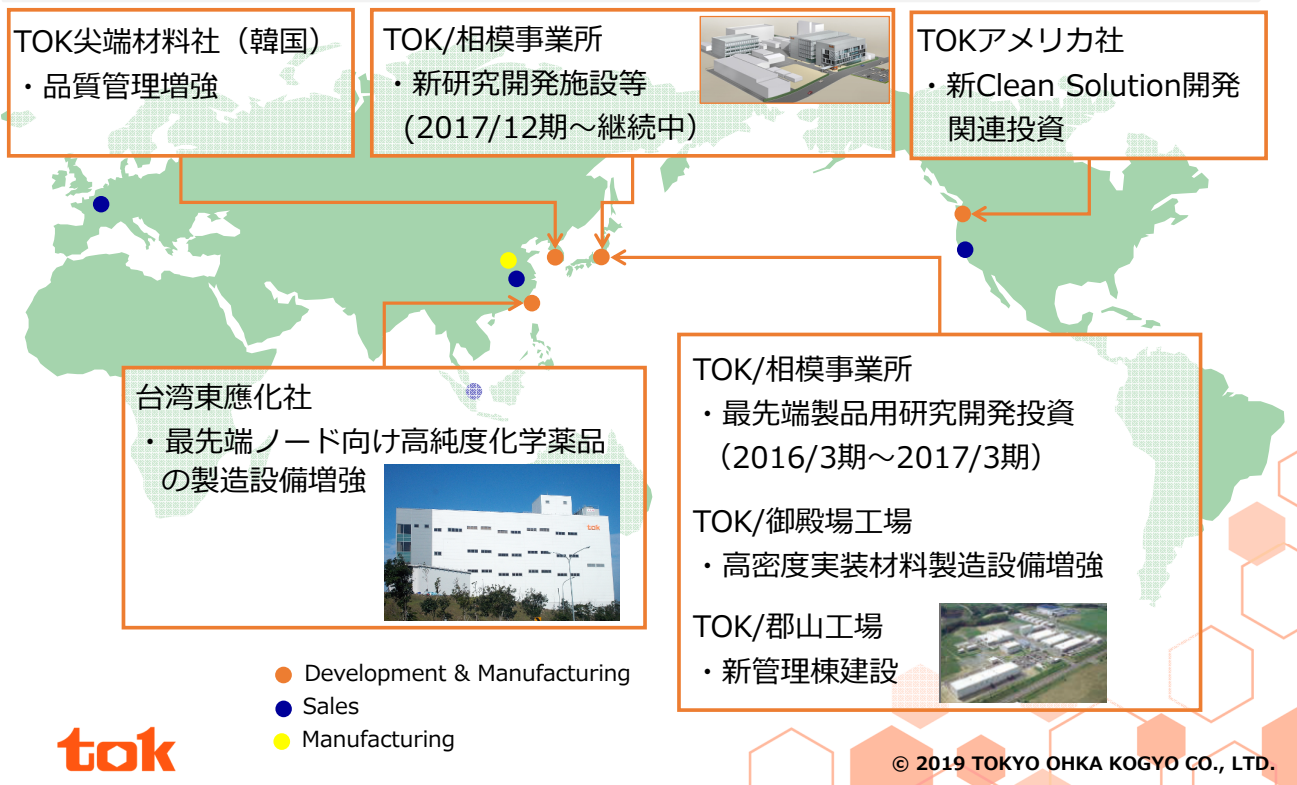
tok中期計画2018総括①：業績

利益目標未達の要因：ArF・装置事業・新規事業の売上目標未達
事業ポートフォリオの変革に対する継続的な注力が必要

売上高：目標比△148億円 → 営業利益：同△45億円

事業/製品	売上目標比	達成/未達の主な要因
ArF	未達	<ul style="list-style-type: none"> 大手顧客での採用未達（アジア） 大手顧客における生産計画遅延（アジア・北米）
KrF	達成	<ul style="list-style-type: none"> 3D-NAND用途での採用（日本・アジア） 3D-NAND量産拡大に伴う需要増（日本・アジア）
高密度実装材料	達成	<ul style="list-style-type: none"> 大手顧客にてFO-WLP用途へ採用（半導体分野） 国内外顧客での採用および用途拡大（電子部品分野） 需要拡大による単価下落（アジア） 顧客ラインの生産量減少（日本・北米）
高純度化学薬品	達成	<ul style="list-style-type: none"> 大手顧客における次世代ラインへの採用拡大（アジア） 新規Clean Solutionの採用及び需要拡大（アジア・北米）
装置事業	未達	<ul style="list-style-type: none"> 3次元実装プロセスの市場拡張遅延
新規事業	未達	<ul style="list-style-type: none"> 注力テーマ（機能性フィルム、NIL等）の事業展開遅延

設備投資217億円を行い、研究開発・生産基盤等を強化



新中期計画の方向性：全社戦略 05

■ 全社戦略

- 顧客の声を的確に捉え、迅速に応え、顧客とのパイプを、より太く、より強いものとする
 - 顧客満足に徹したサポート体制ならびに研究開発に迅速かつ着実に取り組む。
- マーケティングを強化し、顧客の価値創造プロセスへの理解を深め新たな価値創造に結び付ける
 - 徹底的なマーケティングにより、顧客の新たな価値創造につながるソリューションを見極め、集中的かつ積極的に対応する。
- 自ら調べ、自ら判断し、自ら行動できる人材を強化する
 - 様々な顧客とのビジネスの可能性を追求し、成功するまで挑戦を続ける人材を強化する。
- tok 経営基盤を強化する
 - グループマネジメントの更なる高度化とコーポレートガバナンスの充実ならびに経営資源のより効率的な活用を目的としたバランスシートマネジメントの推進に注力する。

tok中期計画2021

経営ビジョン

『高付加価値製品による感動（満足できる性能、コスト、品質）を通じて、世界で信頼される企業グループを目指す。』

全社目標（定性目標）

『TOKグループがやるべきニッチな市場を開拓する。』

tok

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2021のポイント

07

Point①：事業ポートフォリオの変革を強化

⇒「5G・IoT&Innovation」に求められる技術開発にチャレンジ

Point②：成長軌道への回帰

⇒営業利益目標（2021/12期）：150億円～205億円

Point③：バランスシートマネジメントを強化、 新たな配当方針導入

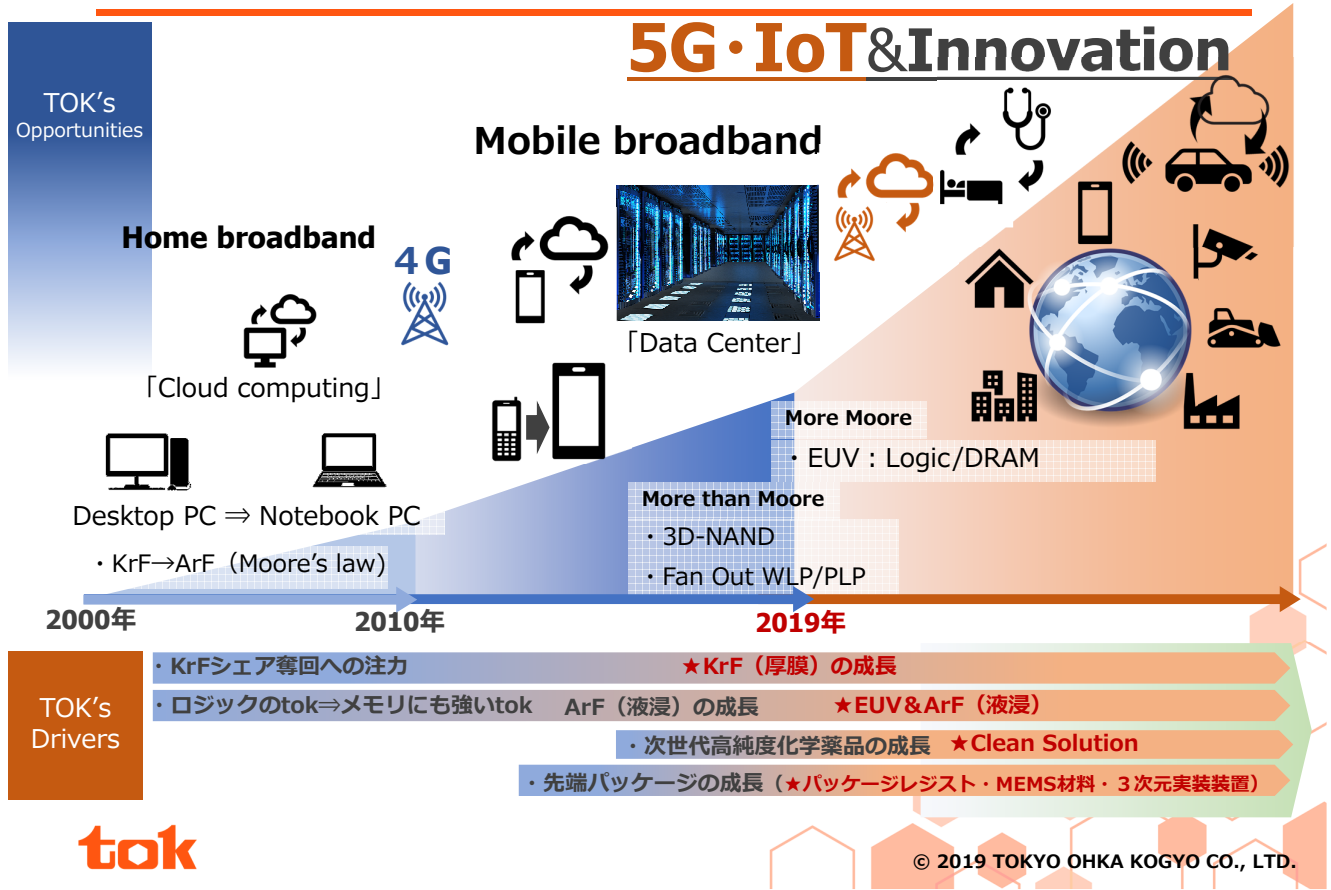
⇒DOE3.5%を目処とする新たな配当方針

2019/12期：1株当たり年間配当予想 = 120円

⇒株主還元策として自己株式の取得についても弾力的に対処する

tok

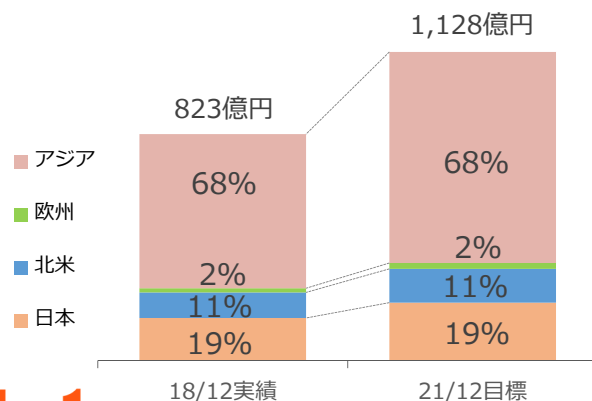
© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



業績目標

単位：億円	2018/12 実績	2019/12 予想	2020/12 目標	2021/12 目標
売上高	1,052	1,116	1,200~1,300	1,250~1,450
営業利益	105	105	135~150	150~205
ROE (%)	4.7%	---	---	8.0%以上
為替 (円/USD)	109.5	105.0	105.0	105.0

■ 主要製品地域別売上高

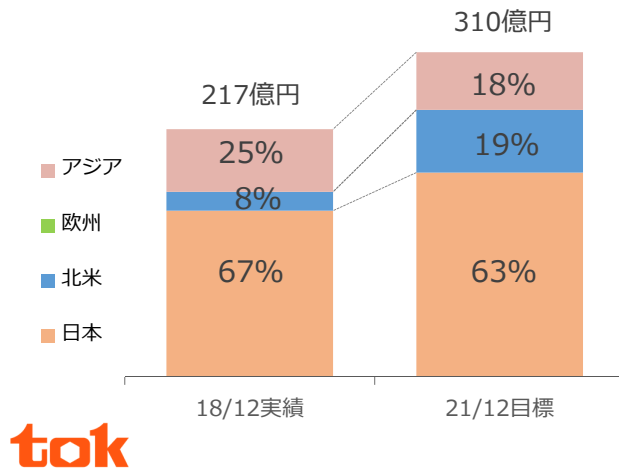


- 売上増加のけん引役はアジア
- 中国での売上増加が、台湾および韓国での売上増加を上回る計画。

(注) 4つの主要製品 (ArF、KrF、高密度実装材料、高純度化学薬品) の地域別売上高。

単位：億円	tok中期計画2015 (2013/4~2016/3)	tok中期計画2018 (2016/4~2018/12)	tok中期計画2021 (2019/1~2021/12)
設備投資額	277	217	310
減価償却費	125	192	240
研究開発費	203	236	280

■ 設備投資額（地域別）



- 北米の設備投資計画を増額。
- アジアの設備投資計画は減額だが、韓国は大幅増額。

tok

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

設備投資計画のポイント

生産設備増設等 初年度に165億円を計画

TOK先端材料社（韓国）

- ・レジスト生産設備増設
- ・完成予定：2020/4Q



TOKアメリカ社

- ・先端向け新Clean Solution対応生産設備増設
- ・完成予定：2019/4Q



台湾東應化社

- ・5nm以下向け高純度化学薬品生産設備増設
- ・完成予定：2020/4Q



TOK/相模事業所

- ・新研究開発施設等
- ・完成予定：2019/3Q（前中計からの継続案件）



- Development & Manufacturing
- Sales
- Manufacturing

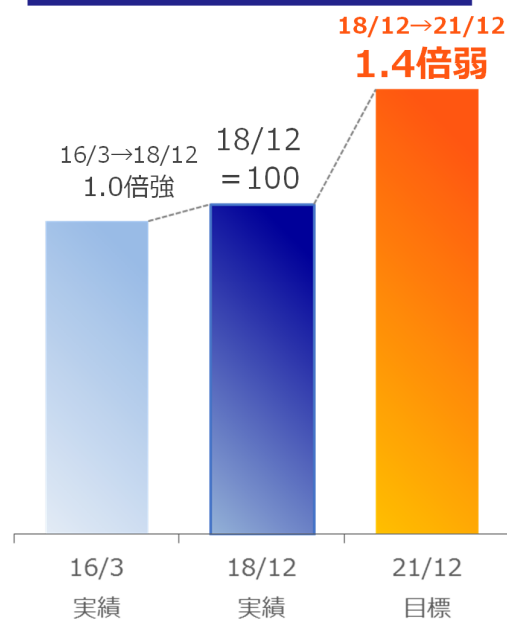
tok

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

EUVが先端レジスト(*)の売上増加をけん引 中国市場向けArFレジストの販売拡大

売上実績・売上目標

(※) 先端レジスト=ArF(液浸+Dry)+EUV



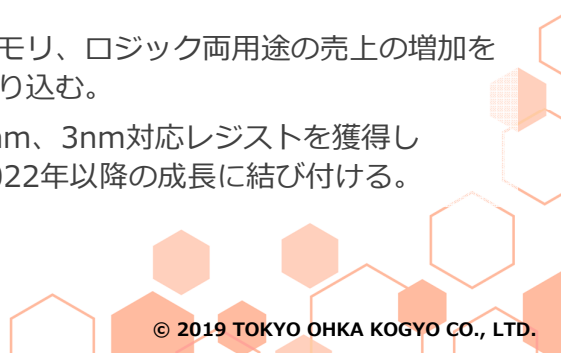
tok

■ ArF

- アジア向け、北米向けの売上増加を想定。
- 中国での販売拡大が売上増加に寄与。

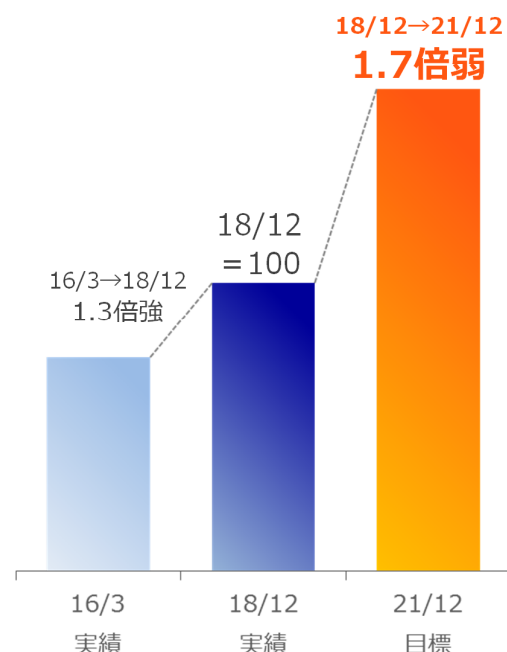
■ EUV

- メモリ、ロジック両用途の売上の増加を織り込む。
- 5nm、3nm対応レジストを獲得し2022年以降の成長に結び付ける。



3D-NANDの生産増加等による需要拡大が売上増加をけん引

売上実績・売上目標



tok

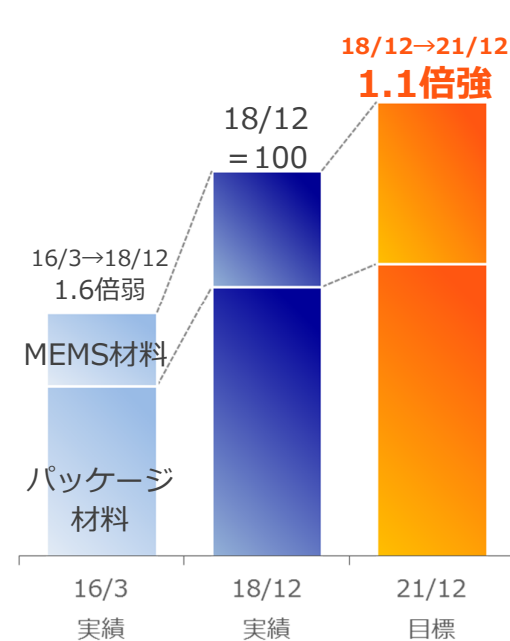
■ KrF

- 3D-NANDの更なる多層化 9x層から1xx層への対応。
- 日本における需要拡大、アジア向け販売の拡大が売上増加をけん引。



先端パッケージ技術の進展により販売拡大を図る

売上実績・売上目標



tok

■ パッケージ材料

- 市場拡大が見込まれるなか、既存顧客における当社シェアを維持。
- OSATに対する販売拡大。
- 先端BUMPプロセスでの採用獲得。

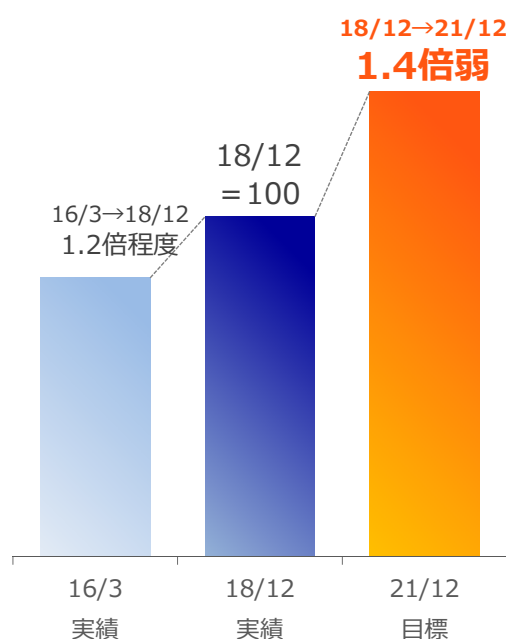
■ MEMS材料

- 高周波デバイス向け販売拡大と新規顧客獲得による売上増加。
- 北米、日、アジア系大手電子部品メーカーへの採用獲得による顧客基盤拡充。

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

アジアに加え、北米が売上増加に寄与

売上実績・売上目標



tok

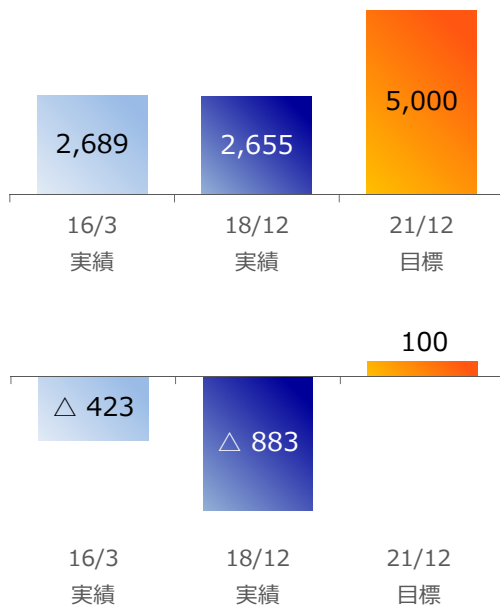
■ 高純度化学薬品

- 高純度・高品質製品に対する需要の拡大に加え、中国市場での販売拡大がアジアでの売上増加に寄与。
- 先端プロセス向け新規製品への需要拡大が売上増加をけん引。
- 次世代向け、新規Clean Solution/新規シンナー開発をグローバル大手半導体メーカーとの間で積極化させる。

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

実績・目標
(売上高：上段/営業利益：下段)

単位：百万円



■ **装置事業**

- 3次元実装、パワーデバイスの成長が期待される。実績を活かした受注拡大を図る。
- 次世代ディスプレイ向け製造装置の開発・製造。



3次元実装用
ボンダー装置



3次元実装用
デボンダー装置



枚葉式プラズマ
アッシング装置

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

■ **機能性フィルム**

新たな技術シーズを当社コア技術として確保、多用途に展開

- “超クリーン”な膜特性を活用した事業展開
 - ・ 多孔質ポリイミドフィルムの開発と事業化
 - ・ 2017/3期に量産ラインを構築



■ **光学部材**

ナノインプリント材料や高屈折率材料等の新材料領域の拡張

- 光をコントロールする構造を作るための加工材料を事業展開

■ **ライフサイエンス関連材料**

フォトリソグラフィ関連技術をライフサイエンス分野で事業化

- フォトレジスト技術に、医療診断デバイス分野で必要とされる低自家蛍光、表面自由エネルギー、接着性能等を付加し、バイオチップ材料の製品化に注力

■ **協業・支援**

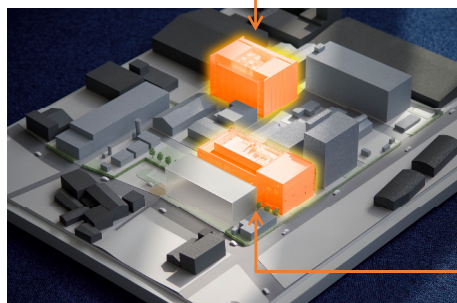
当社コアテクノロジーと他企業の優れた技術力で新たなイノベーション



© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

新たな技術シーズをコア技術として確立する

新施設活用による、新規テーマ探索とステージアップの活性化



■ 新C-1棟

□ 危険物対応のスーパークリーンルーム

- 危険物対応としては世界トップクラスのクリーン度を誇る。
- 次世代微細化製品の製造技術をいち早く確立するために活用。

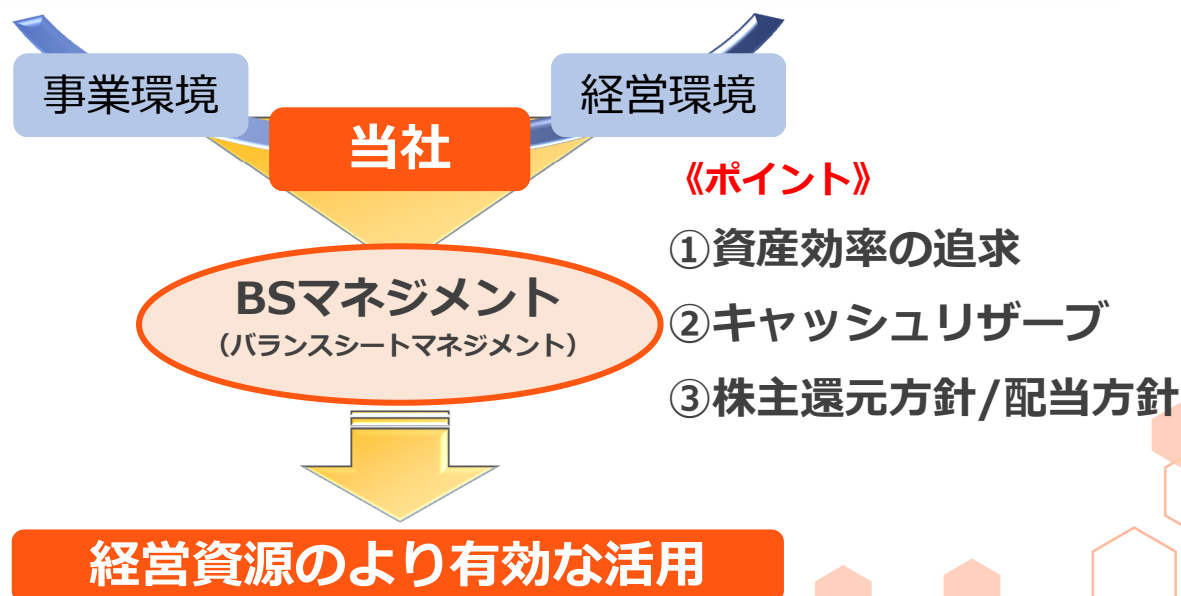
■ 新B-6棟

□ オープンイノベーション施設

- 次世代の材料開発を見据え、すべてのステークホルダーと共に協創を目指す。

財務資本政策①：BSマネジメント

ロングランの研究開発型企业として
「投資」「キャッシュリザーブ」「株主還元」の
ベストバランスを追求



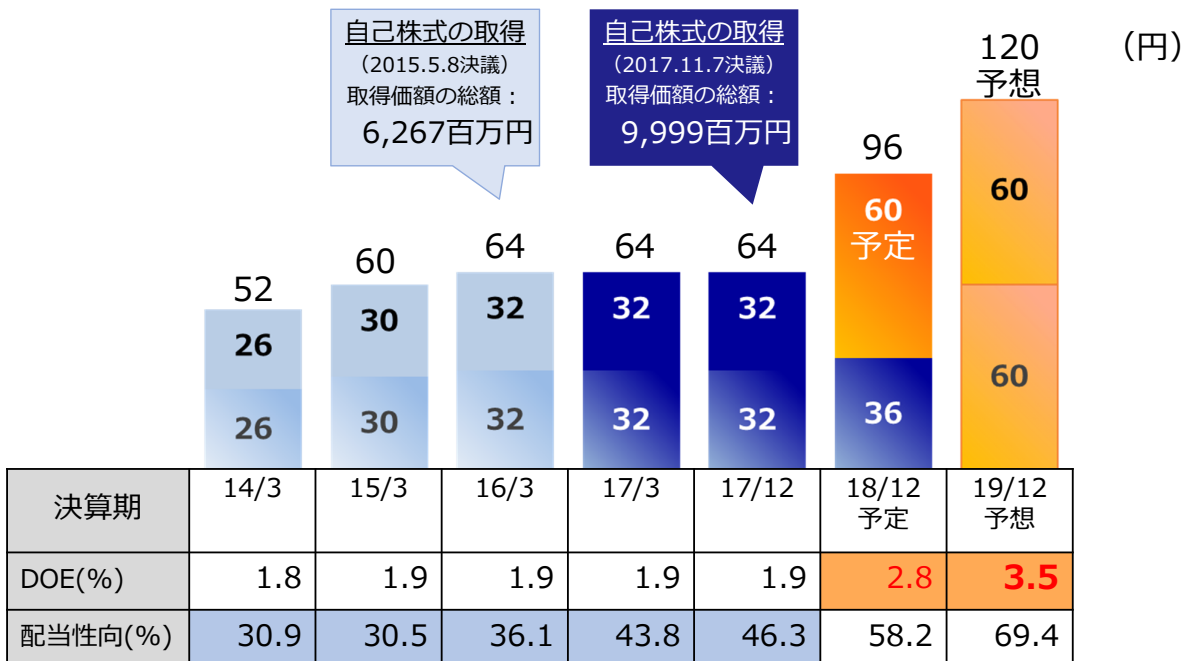
■ キャッシュリザーブ

- ロングランの研究開発型企业として、**必要な資金確保**の観点から算出。
 - 超長期を見据えた技術の開発
 - 超長期にわたるチャレンジの継続
 - 不測時の迅速な対応（大規模災害からの復旧・再建など）

$$\text{キャッシュリザーブ額} = \text{運転資金} + \text{投資準備資金} + \text{リスク対応資金}$$

■ 株主還元/配当

- 安定的かつ継続的な株主への利益還元を目的として新配当方針を策定。
⇒純資産配当率**DOE3.5%**を目処（2018年12期 期末配当より予定）
- 株主還元策として自己株式の取得についても弾力的に対処する。



配当政策
数値基準

tok中期計画2015
～連結配当性向30%以上～

tok中期計画2018
～連結配当性向40%以上～

tok中期計画2021
～連結DOE3.5%を基準～



Challenge for the Future !

tok

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

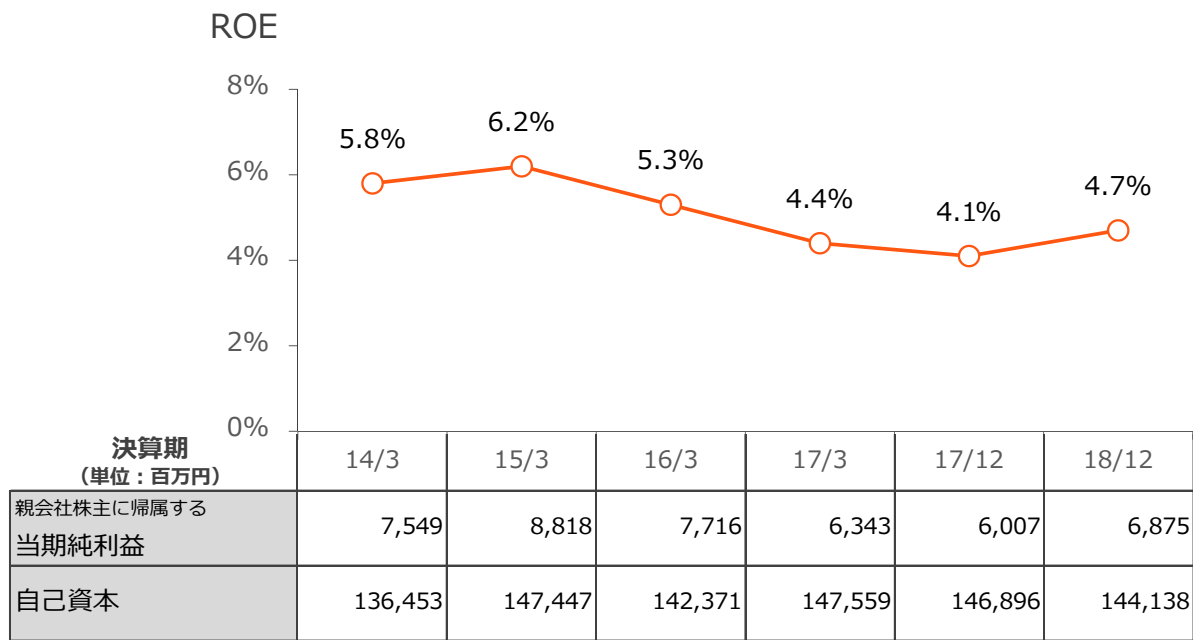
補足①：業績推移/業績目標（内訳）

23

単位：百万円	2016/3実績	2017/3実績	2018/12実績	2019/12予想 (年度計画)	2021/12目標 (ベストシナリオ)
売上高	89,969	88,764	105,277	111,600	145,000
材料事業	87,280	86,558	102,621	107,100	140,000
装置事業	2,689	2,205	2,655	4,500	5,000
営業利益	12,438	9,954	10,505	10,500	20,500
材料事業	16,203	14,470	15,075	14,600	24,500
装置事業	△ 423	△ 750	△ 883	△ 100	100
消去又は全社	△ 3,342	△ 3,764	△ 3,686	△ 4,000	△ 4,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,716	6,343	6,875	7,200	15,000
為替	119.3	107.1	109.5	105.0	105.0
<材料事業内訳>					
売 高	51,134	53,074	58,793	61,600	80,000
エレクトロニクス機能材料	51,134	53,074	58,793	61,600	80,000
上 高	35,931	33,475	43,733	45,300	59,500
高純度化学薬品	35,931	33,475	43,733	45,300	59,500
高 高	214	9	95	200	500
その他	214	9	95	200	500

tok

© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



※2017/12期のROEおよび親会社株主に帰属する当期純利益は9ヵ月決算の数値。



© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

社会的価値向上と企業価値向上の両立へ向けて

tokは、事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組みます

ESG重要課題

- ✓ 製造工程における環境負荷の低減
- ✓ 法律以上の環境負荷低減への取り組み
- ✓ 競争力強化のための人材施策の強化とダイバーシティの推進
- ✓ ワークライフバランスの追求と働きがいのある職場づくり/労働安全衛生
- ✓ 競争力強化のためのオープンイノベーション
- ✓ グループマネジメントシステム浸透
- ✓ 最先端技術に関する厳格な情報管理

達成に取り組むSDGs目標



外部評価



© 2019 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

<https://www.tok.co.jp/>

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

tok

